



# 1年学年だより

発行日：令和4年2月28日（月）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 10

## 令和3年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校11期生適性検査、南高校69期生高校入試が実施されました。南高校および附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和3年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今年度の総仕上げをしている各学年の様子をお伝えします。

保護者の皆さま、1年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和3年度も残りひと月、よろしく願いいたします。

### 自分の足で踏み出そう！

3年学年主任 蛭田 真生

中学校生活も終盤を迎え、日々のいろいろな場面で8期生の良さが表れています。朝、クラスから響く笑い声、廊下ですれ違うときの元気なあいさつと笑顔、授業中に互いに教え合ったり、授業後も熱心に議論したりする姿、休み時間の和気あいあいとした雰囲気、などなど……。コロナ禍で続く閉塞感を吹き飛ばすような、みんなの明るくひたむきな姿に、私も毎日たくさんの元気をもらっています。

4月からはよいよ高校生ですね。新しい仲間、新しい先生、たくさんの「新しいこと」が待っていることでしょう。環境が変わるとき、それは自分自身が成長する大きなチャンスです！みんなには、ぜひ、新しいことがやってくるのを待つのではなく、自ら飛び込んでいく！という気持ちで行動して行ってほしいと思っています。自分の足で登ってみなければ、見ることのできない景色があります。“失敗”もまた素晴らしい経験になるでしょう。高校進学まであと1か月。飛躍のための助走期間として、いますべきことに全力で取り組んでいきましょう！

### 温かなつながりの中で

2年学年主任 福田 由美

「ありがとうございます」その一瞬のたたずまいの中に、9期生の成長を感じる事がたびたびあります。温かな笑顔に、「こちらこそありがとう」という温かな気持ちになります。追いかけてきた先輩たちから学んだのでしょうか。または頼ってくれる後輩の存在がきっかけでしょうか。これまでの無邪気な明るさだけでなく、「思いを言葉に、行動に」という9期生が自分たちで立てた目標の姿に一歩ずつ近づいているように思います。今年も生活の中に様々な制限がありましたが、その中でも友だちと関われるチャンスを最大限に生かして、ともに成長してきました。

そんな中で、「うまくいかないなあ」と感じる時もあったかもしれません。さなぎの時ですね。何も動いていないように見えるさなぎの中は、大きく変化しているそうです。うまくいかないと感じる時も、次に進むために必要な準備の段階なのです。さなぎから孵化する時も誰かが必ず見守っていますので安心してください。温かなつながりの中で、9期生が心優しく、思いやり深く成長している様子を心から嬉しく思います。

### 感謝の気持ちを大切に

1年学年主任 朝比奈 康江

北京オリンピックが閉幕しました。令和3年度は、夏の東京オリンピックに続き、冬季オリンピックも行われた異例の年となりました。今回も、観ている私たちに勇気をくれる多くの感動的なドラマが生まれました。アスリートの皆さんが、どのような場面でも最後まで諦めず、常に自分を支えてくれた人々に感謝をし、競い合った相手をリスペクトする姿勢が印象に残っています。

今年度、みなさんは新しい環境で多くの体験をしました。楽しかったこと、達成感を得られたことはもちろんあったと思いますが、一方で思い通りにいかなかったこともあったのではないのでしょうか。でも、あとから振り返ったとき、あの出来事もこの経験もすべてが自分の成長の糧となっていることに気づくでしょう。そしてそこには常に誰かの支えがあったはずです。これからも、日常のささいなことの中に、感謝と他の人を尊重する気持ちを持ち続けて、すこやかに成長して行ってほしいと思います。

# 授業の様子をご紹介します

校門を入ったところにある紅白の梅の花が咲き始めました。2月の附属中学校は、適性検査や高校入試など、一足早く新年度を迎える準備で慌ただしい日々です。新型コロナウイルスの影響もまだ色濃く、3年生の関西方面への研修旅行が中止になったり、1年生では百人一首大会が延期になったりしています。

なかなか計画通りには運ばない毎日ですが、今回は、みなさんが一日の大半を過ごしている学校で、その大部分を占めている授業の様子をご紹介します。今できることに真摯に向き合い、仲間との時間を楽しみながら大切にしているみなさんの一面を垣間見ることができました。

## 【国語】



(登場人物の心情がびっしり書き込まれたノートとワークシート)

ヘルマン ヘッセ原作の小説「少年の日の思い出」という教材で、登場人物の心情の変化を、根拠をもとに読み取る力を付ける学習を行いました。「非の打ちどころがない悪徳」を持った少年として描かれているエーミール。「僕」が少年時代に情熱を傾けたちょうの収集をめぐり、心ならずもエーミールのちょうを壊してしまった僕の心の葛藤を「エーミールと僕のどちらを擁護するか」という言語活動を通して丁寧に読み取っていきました。クラス全体の討論はどのクラスも活発で、他の人の意見に「確かに。」「そうだ。」「おおー」という声が上がっていました。

## 【社会】

世界の諸地域の中から、今回は「アフリカ州」について学習しました。アフリカが抱える課題に対して、どのような支援が望ましいか考えました。支援には、さまざまなパターンがあり、自分が望ましいと思う支援に他の人たちが同じ意見とは限りません。色々な考えをもつ人たちとも交流を通して、考えを広げることができました。



## 【数学】

連立方程式の文章題に取り組んでいます。日頃から、互いにノートを見せ合い、解き方や、どこまで理解したかを説明し合ったりする方法で学習を進めています。今回は、多様な考えが出たので、黒板に書いて他の人と共有しているところです。



## 【理科】

「火をふく大地」の単元で、マグマから出来た岩石について学習しました。

顕微鏡を使って、深成岩と火山岩の特徴の違いをスケッチしています。集中してじっくりと丁寧に取り組んでいました。



## 【英語】

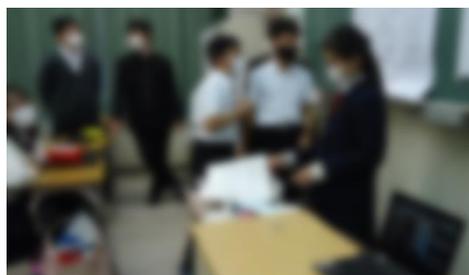
4月からラウンド型シラバスで進めた英語学習のまとめとして、1月よりラウンド5の学習を進めています。現在は、教科書のストーリーを自分の英語でまとめ直すリテリングの活動に取り組んでいます。

これまでの音読活動で身につけてきた表現を用いて、熱心に活動に取り組んでいます。最初はうまく言えなかったピク

チャーカードも、友だちのリテリングを聞いてアイディアを得て自分のリテリングに生かすことで、徐々に表現の幅が広がっています。また、ペアやグループで、リレー形式でリテリングを行う活動は毎回大変盛り上がります。制限時間内に話終わることができるように、友だちと高めあいながら日々の授業を楽しんでいます。



## オンラインで全校レク



2月22日(火)7校時に、生徒会企画スクールワイドフェスが行われました。コロナ禍で全校生徒が集まることができない中、生徒会本部役員が中心になり、Chromebookのミーティング機能を使って、縦割りのクラスによる学年交流が実現しました。生徒会活動の今年度のテーマ「TPOで変えよう、我らの日常」

達成のため、あいさつのシチュエーション・ゲームや、「電車の中で荷物を床に置くべきか、抱えるべきか」をテーマにしたディベートなど、楽しさの中にも考えさせる課題の含まれた有意義な企画でした。生徒会本部役員や学級委員の皆さんの企画・運営力のもとより、附属中全員で盛り上げようと活動したすばらしい時間でした。



## 【姫のひとりごと】

毎年思いますが、3学期が過ぎる速さは他の月とは異なります。あっという間に2月も終わりです。この時期、生活リズムを乱すことなく家庭学習の日々を過ごし、課題に取り組むというのも「自律」するための学習機会と考えられます。

1年生修了まであと〇日というカウントダウンが始まっているクラスもあります。高校3年生まで過ごす南高・南高附属中ですが、最初の年の印象は格別の様です。仲間と共に成長した日々を、最後まで大切に過ごしましょう。